

1. 科目登録の要領

●科目登録とは？

あなたが本年度履修する科目を届け出ることです。具体的には、「学修支援システム DUET」や窓口にて科目を登録することを意味します。

本年度の登録は、次年度以降の履修にも影響するため、計画的に行い、登録した科目は授業に出席するだけでなく、自習時間を活用し、責任をもって履修する必要があります。登録手続は、次の冊子等を熟読し、掲示や DUET 等に注意して誤りのないように行ってください。

- ・履修要項
- ・開講科目一覧
- ・シラバス(WEB)
- ・登録要領 (この冊子)

●登録手続手順 (全体の流れ)

科目登録は科目ごとに登録日程が定められており、登録日によって、**先行登録**と**一般登録**に分けられます。

時間割を作成する

先行登録 (DUET 利用等)

3月24日(月)～

【入学年度によって異なる】

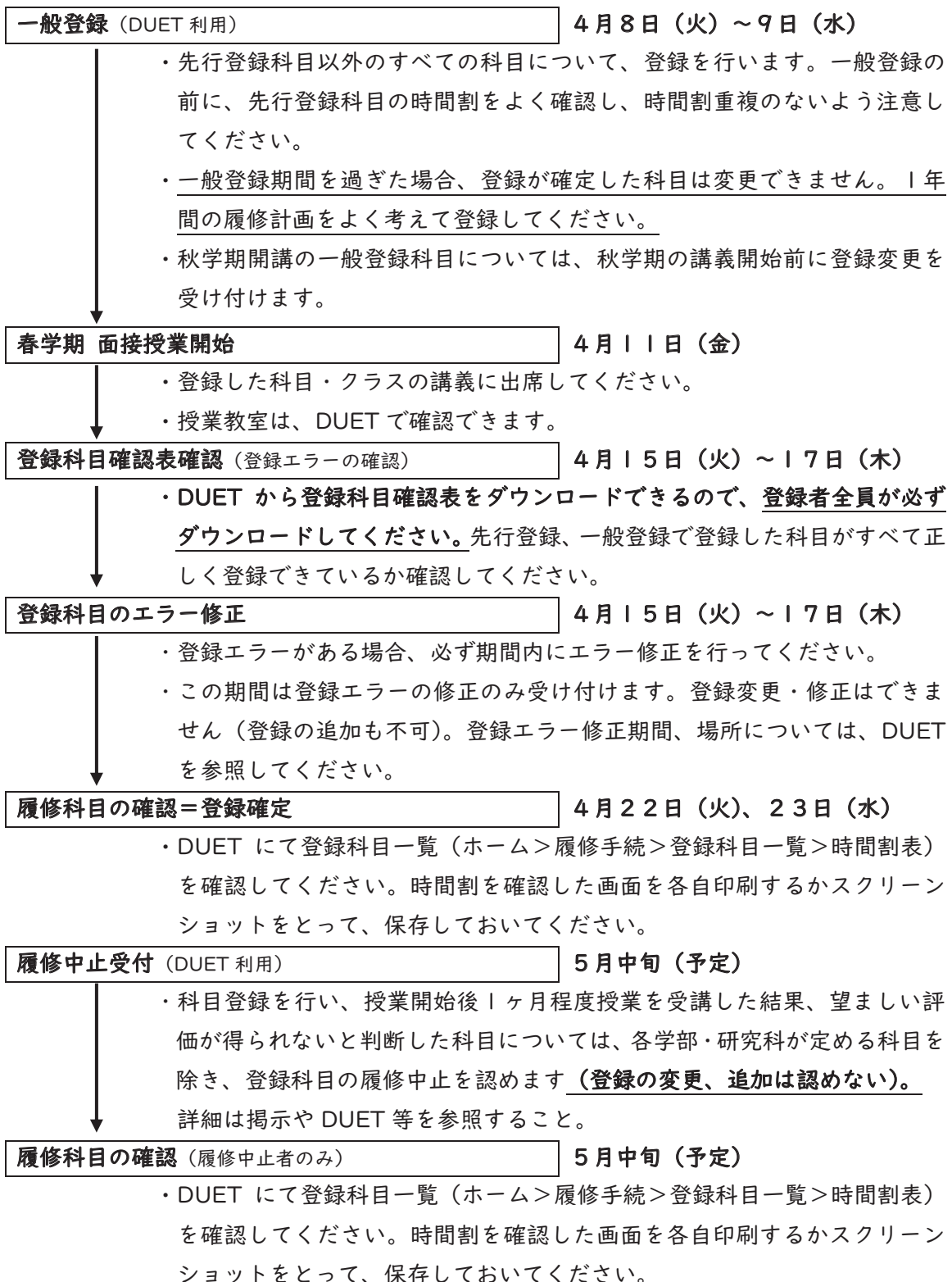
- ・施設や機器類の制約等からクラス定員が決められており、講義開始前に登録者を確定しなければならない科目(クラス)の登録です。抽選等の結果がそのまま登録に反映されます。
- ・登録が確定した科目は変更できません。よく考えて1年間の履修計画を立てた上で登録してください。ただし、秋学期開講の先行登録科目の一部については、秋学期の講義開始前に、登録変更を受け付けることもあります。詳細は、秋学期の講義開始前に掲示や DUET 等を確認してください。
- ・科目(クラス)ごとに登録日時、場所、方法が異なります。どの科目が先行登録科目であるか、登録日程や会場、方法等については登録要領(この冊子)および掲示や DUET 等で確認してください。
- ・登録エラー修正期間、場所については、掲示や DUET 等を参照してください。

DO Week (オンデマンド授業期間)

4月4日(金)～10日(木)

- ・学期始めの1週間は履修科目登録を行うオリエンテーション期間と初回のオンデマンド配信が並行する期間となります。
- ・1回目のオンデマンド配信には、シラバスの説明や授業に関する内容説明が含まれます。各科目を履修することで身につく能力等を確認し、バランスの取れた履修計画の策定に役立ててください。
- ・オンデマンド配信はシラバスから URL を確認できます。受講の上、指示された課題等に取り組んでください。
- ・シラバスの「DO Week 期間の初回動画等の配信」欄に「なし」が表示され

ている科目は、オンデマンド配信を行いません。〈授業計画〉欄等より、授業の実施予定を確認してください。



〈注意〉

- 1) 例年、時間割重複、指定されたクラス以外のクラスの登録、登録単位数オーバー等の登録ミスが目立ちます。登録の際は十分注意してください。登録に不備（エラー）があった場合は、各自の責任で必ず所定のエラー修正期間に修正手続きをしてください。期間内に修正せず、エラーを放置した場合には、登録エラーに関する科目を大学がすべて強制削除します。
- 2) 登録期間中は、手続の確認等で問合せを行うことがありますので、必ず連絡が取れるようにしておいてください。
- 3) DUET による各種申請手続（科目登録、先行登録、履修中止など）は、万全の体制を整えて準備していますが、予測不能なネットワーク障害やシステムのハード障害等が発生し、WEBによる手続が行えなくなる可能性もあります。
申請手続期間中に大学側のシステムに重大なトラブルが発生し、手続が正常に行えなかった場合には、受付時間の延長や教室での受付に変更（ネットワークやシステムの復旧に時間を要する場合）することもありますので、予めご注意ください。

なお、これらの臨時的対応については、DUET のお知らせにて案内しますが、DUET が障害により稼動していない場合については、「在学生のページ」の重要なお知らせにて周知します。

●先行登録（WEB）について

登録については『DUETによる先行登録申請_利用上の注意』を熟読してください。
理工学関連科目のうち、先行登録が必要な科目は、開講学期ごとに先行登録を受け付けます。すなわち、秋学期に開講される先行登録科目の登録手続きは、秋学期開始前に設定される先行登録期間に手続きを行う必要があるため、注意してください。（ただし、一部春学期に先行登録手続きが必要な秋学期開講科目があるため、詳細は26頁および掲示やDUET等を確認してください。）

●一般登録（WEB）について

登録については『DUETによる一般登録_利用上の注意』を熟読してください。
通常の科目登録を行う場合は、登録種別欄は空欄のまま登録してください。ただし、自由科目として登録する場合は「Z」、免許・資格関係科目として登録する場合は「M」を選択して登録してください。自由科目、免許・資格関係科目を登録する場合は、5頁の説明をよく読み、十分に理解したうえで登録してください。

●手続場所・時間

原則としてDUETでの手続きを行うこととなりますが、科目によっては窓口での申請が必要なものもあるため、「2025年度理工学部登録関係日程表」や各科目の該当ページを参照してください。なお、臨時に変更される場合があるので掲示やDUET等に注意してください。

● 掲示板

理工学部掲示板：理化学館前階段下（創考館南側）

理工学関連科目（必修科目、選択科目A群・C群）、全学共通教養教育科目の自然科学系科目（選択科目B群Ⅲ類）、理工学部履修要項記載の自由科目に関する事、および理工学部学生に対する一般的な周知事項、呼び出し等に関する事を掲示します。

● エラー修正および登録変更

エラー修正期間は登録エラーの修正のみが可能です。登録変更（エラー科目以外の削除および追加）はできないので、ミスのないよう細心の注意を払うこと。また、エラー科目のうち、以下の科目については登録変更を認めません。

1. 理工学関連科目のうち、必修科目
2. 先行登録科目
ただし、春学期に登録した秋学期先行登録科目は、秋学期開始前に登録変更を認める場合があります。対象科目や日程、場所等、詳細については、掲示やDUET等でお知らせします。
3. クラス指定のある科目（クラスを変更する場合）
4. 適正な登録者数を超えた科目
5. 学外実習2（シラバスを確認すること）
6. その他当該科目の設置主体である学部が登録変更を認めない科目
ただし、「登録に関する注意」に掲げる例外処置に相当する科目はこれらの限りではありません。

なお、秋学期の講義開始前（9月中旬）には、秋学期科目のみ登録変更を受け付けます。日程等については、後日掲示やDUET等で周知します。

● 秋学期の講義開始前に登録を行う科目（理工学関連科目）

秋学期開講の先行登録科目は秋学期講義開始前に先行登録を受け付けます。

ただし、一部春学期に先行登録手続きが必要な秋学期開講科目があるため、詳細は26頁および掲示やDUET等を確認してください。

●登録時の注意

①二重登録の禁止

同一授業時間に重複して登録することはできません。また、複数のクラスがある科目は、いずれか1クラスしか登録できません。

②配当年次

履修要項の設置科目一覧に記された配当年次より低い年次の学生は、その科目を登録することはできません。

③グレード（機械システム工学科、機械理工学科、エネルギー機械工学科）

機械システム工学科、機械理工学科、エネルギー機械工学科の学生については、必修科目・選択科目A群が3つのグレードに分類されており、グレードごとに定められた履修の条件を満たさなければ、その科目を登録することはできません（詳しくは履修要項を参照すること）。

④クラスの選択

学科や学籍番号によってクラスが指定されている科目があります。（理工学関連科目の学科指定は開講科目一覧を、学籍番号指定はこの冊子の「登録に関する注意」を、また、外国語科目についてはこの冊子の該当部分を参照すること）。

⑤登録制限単位数

1年間に登録できる単位数は、48単位を限度とし、かつ春学期または秋学期の登録単位数は、1単位以上30単位以下とする。ただし、免許・資格関係科目として登録する科目は含まない。

⑥免許・資格関係科目

免許・資格（教職課程、博物館学芸員課程、図書館司書課程、学校図書館司書教諭課程）に必要な科目は、「免許・資格関係科目」として登録することで、登録制限単位数には含まずに登録することができます。ただし、「免許・資格関係科目」として登録した場合は、卒業単位に算入されません。

免許・資格関係科目として1年間に登録できる登録単位数は、年間の登録制限単位数とは別に、1課程履修の場合は18単位まで、2課程履修の場合は22単位までと定められているので注意してください。

「M」登録（免許・資格関係科目として登録）について

免許・資格関係科目の登録種別欄で「M」を選択して登録（M登録）するには、履修を希望する免許資格課程の「仮登録（一般登録期間にDUETにて可能）」もしくは「課程登録（説明会出席等の所定手続が必要）」を必ず行わなければなりません。手続方法は免許資格課程や年次によって異なるので免許資格課程センターの掲示で確認を行ってください。

「仮登録」もしくは「課程登録」を行った課程で定められている科目に限りM登録を行うことが可能となります。「仮登録」もしくは「課程登録」が完了していない場合、M登録することはできず登録エラーとなるので注意してください。

免許・資格関係科目の履修制限単位数

1 課程履修	18 単位
2 課程履修 (例: 教職課程と図書館司書課程) 注) 教職の2教科を意味しない	22 単位

科目群の性格

	必修・選択科目	自由科目	免許・資格関係科目
卒業単位に算入するか?	YES	NO	NO
GPAに算入するか?	YES	NO	NO
免許・資格に有効か?	充当できる科目は有効	YES	YES
登録制限単位に算入するか?	YES	YES	NO

⑦履修済み科目の登録禁止

過去に単位を修得した科目を再度登録することはできない。

⑧先修条件・同時履修条件(セット登録)のある科目

科目によっては、前年度に他の科目を履修済み(場合によっては登録済み)でないとして登録できなかったり、同一年度同時に登録すべき科目を有したりする場合があるため、開講科目一覧等を参照すること。

⑨京田辺校地以外で開講する科目・クラスの登録

理工学部の学生は原則として京田辺校地で開講する科目・クラスを登録すること。

ただし、京田辺校地以外で開講する科目の登録を希望する場合は、下記の点に注意し、事前に理工学部・理工学研究科事務室で相談をすること。

1. 科目を設置している学部の履修要項で、履修年次、履修条件を確認し、その条件に従った登録をすること。
2. 校地の移動時間等を考慮し、無理のない履修計画を立てること。

⑩他大学等で修得した単位認定について

入学前に他大学等で単位を修得し、認定を希望する者は、4月7日(月)までに理工学部・理工学研究科事務室へ申し出ること。

○住所変更について

引越し等により成績通知書に記載されている本人または父母等の住所や電話番号が現在のもとは異なる場合は、住所変更の手続きが必要です。

本人の住所や電話番号の変更は、DUETで変更手続きを行ってください。

父母等の住所や電話番号の変更は住所変更届を記入の上、理工学部・理工学研究科事務室まで届け出てください。また、学期途中で住所や電話番号が変更した場合も、すみやかに住所変更手続きを行ってください。

有効単位数の考え方について

登録履修の際に総修得単位数(※1)と有効単位数(※2)の違いが理解できておらず、間違った登録履修を行ったため、進級・卒業ができない方がいます。以下の例で総修得単位数の考え方と有効単位数の考え方は違うという事を理解し、自分の修得単位を点検してください。

※1 これまでに修得した単位数の総計

※2 総修得単位数のうち進級判定や卒業判定に有効な単位数の総計

<有効単位数とは？>

→卒業必要単位数(128単位)から、それに対して不足している単位数を引くことで算出できます。

$$\rightarrow \boxed{\text{卒業必要単位数}} - \boxed{\text{不足単位数}} = \boxed{\text{有効単位数}}$$

※ただし、修得済みの単位が全て卒業や進級に有効な単位の場合に限ります。

例：3年次修了時 単位修得表(成績通知書)

単 位 修 得 表							
種 別	卒業必要 単位数	修 得 数		種 別	卒業必要 単位数	修 得 数	
		科 目	単 位			科 目	単 位
① 必 修	48	20	40	B群Ⅰ類	8以上	8	8
				B群Ⅱ類	4以上	2	4
選 択 計	80以上	38	70	B群Ⅲ類	④ 10以上	12	26
A群Ⅰ類	40以上	15	30	(B群小計)	22以上	22	38
② AⅠ-1	2以上	1	4				
AⅠ-2		14	26				
A群Ⅱ類		1	2				
(A群小計)	50以上	16	32	③ 合 計	128	58	110
				自由科目			
				免許・資格関係科目			

【有効単位数の考え方】

◆各種別の卒業必要単位数に何単位不足しているかを確認する。

① $48 - 40 = 8$ 単位不足、② $40 - 30 = 10$ 単位不足、③ $50 - 32 = 18$ 単位不足

①：8単位 + ③：18単位 (②10単位を含む) = 計26単位不足

→卒業必要単位数に対して26単位不足している。

128 (卒業必要単位数合計) $- 26$ 単位 (不足単位数) $= 102$ 単位 (有効単位数)

<結果>

成績通知書の総修得単位数は110単位だが、有効単位数は102単位となる。

<原因>

B群Ⅲ類(④)を卒業必要単位(最少)数以上修得しており、通知書に記載されている総修得単位数と有効単位数に差異が生じているため。